

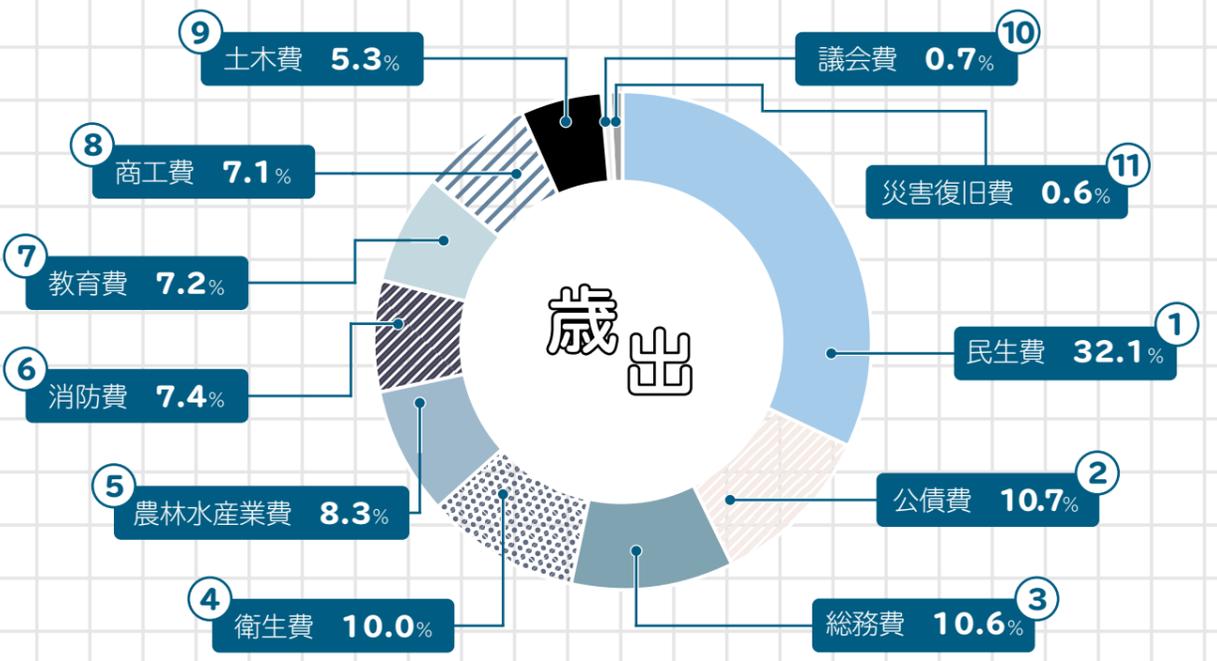
歳入歳出差引額 **15億9,663万円**

令和4年度決算

企画財政課 財政係
☎ 22-3204

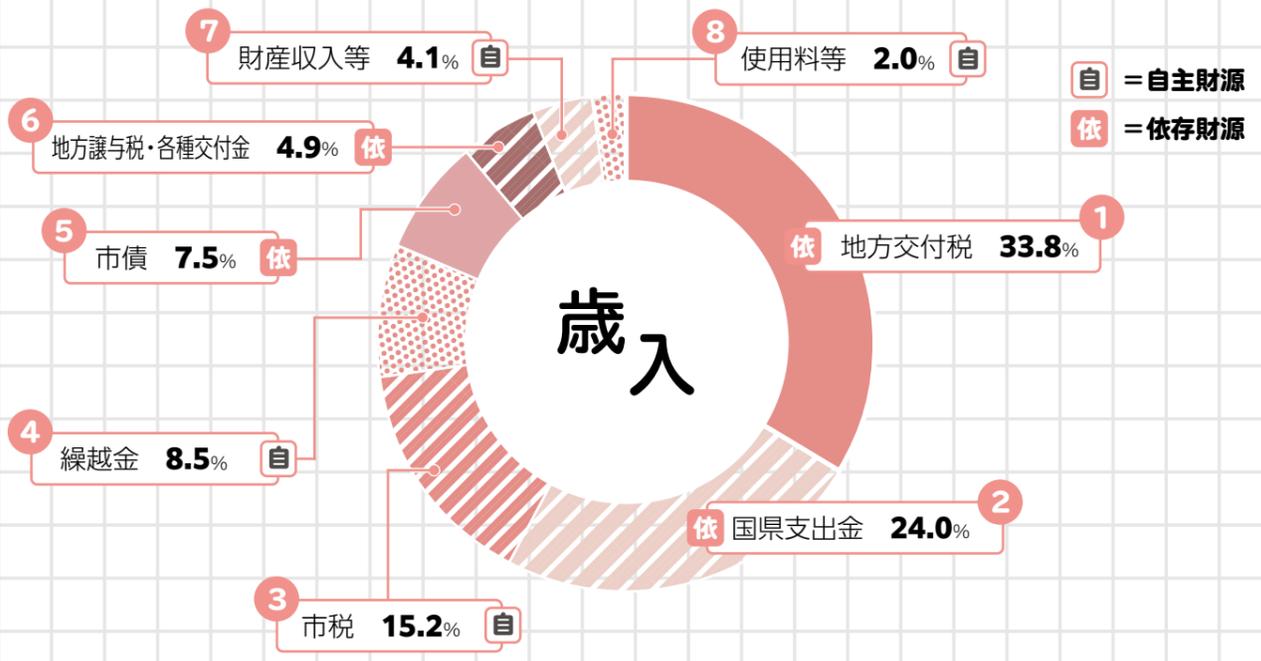
令和4年度一般会計および特別会計・企業会計の決算状況について、皆さまから納めていただいたお金や国・県から交付されたお金がどのように使われたのかをお知らせします。
※表示単位未満を四捨五入しているため、内訳の単純合計と総額の数値は一致しません。

一般会計 歳出総額 **187億6,768万円**(対前年比 ▲4.3%)

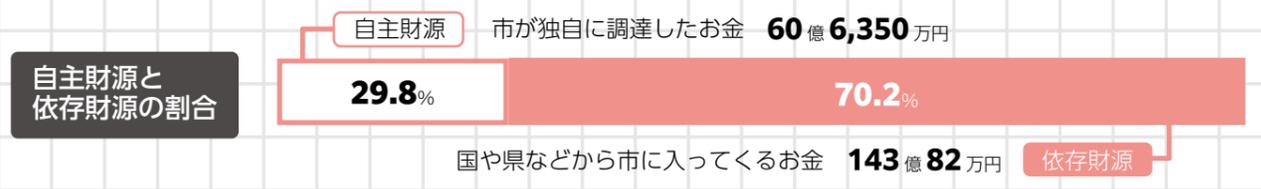


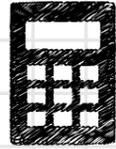
1 民生費	60億1,614万円	(32.1%)	子育て、高齢者、生活保護などの福祉のために使われるお金
2 公債費	20億1,660万円	(10.7%)	市の借金を返済するために使われるお金
3 総務費	19億8,937万円	(10.6%)	財産管理や情報化、交通、防災、統計、選挙、などに使われるお金
4 衛生費	18億7,036万円	(10.0%)	ごみ処理や環境整備、健康づくりなどに使われるお金
5 農林水産業費	15億5,831万円	(8.3%)	農林畜産業の振興のために使われるお金
6 消防費	13億9,196万円	(7.4%)	消防活動や防災対策のために使われるお金
7 教育費	13億5,048万円	(7.2%)	教育や文化・スポーツ振興のために使われるお金
8 商工費	13億2,806万円	(7.1%)	商工、観光の振興のために使われるお金
9 土木費	9億8,771万円	(5.3%)	道路や橋、河川、公営住宅などの整備に使われるお金
10 議会費	1億3,661万円	(0.7%)	議会運営のためのお金
11 災害復旧費	1億2,208万円	(0.6%)	災害復旧のために使われるお金

一般会計 歳入総額 **203億6,431万円**(対前年比 ▲1.0%)



依 1 地方交付税	68億9,172万円	(33.8%)	どの地域に住む住民にも一定水準の行政サービスを提供できるよう国から交付されるお金
依 2 国県支出金	48億8,648万円	(24.0%)	特定の事業を行うために国県から交付されるお金
自 3 市税	30億9,379万円	(15.2%)	市民の皆さまから納めていただいた税金
自 4 繰越金	17億2,674万円	(8.5%)	前年から繰り越したお金
依 5 市債	15億2,240万円	(7.5%)	特定の事業を行うために市が借り入れたお金
依 6 地方譲与税・各種交付金	10億22万円	(4.9%)	国税や県税として徴収したものを、国や県が一定の基準により、市に対して譲与・交付するお金
自 7 財産収入等	8億3,623万円	(4.1%)	財産収入のほか、寄附金、繰入金、諸収入
自 8 使用料等	4億674万円	(2.0%)	使用料のほか手数料、分担金および負担金





特別会計と企業会計

特別会計 市が特定の事業を行う時に経理を明確にするために一般会計と区別した会計です。

会計名	歳入額	歳出額	差引額
阿蘇山観光事業	6,660万円	6,660万円	0万円
下水道事業	5億1,957万円	5億317万円	1,640万円
国民健康保険事業	35億1,721万円	34億4,476万円	7,245万円
介護保険事業	35億2,100万円	32億2,131万円	2億9,969万円
後期高齢者医療事業	5億1,620万円	5億136万円	1,484万円
坂梨財産区	2,389万円	1,882万円	508万円
古城財産区	1,363万円	606万円	757万円
中通財産区	2,915万円	1,488万円	1,427万円
宮地財産区	4万円	2万円	2万円

企業会計 市が経営する企業の会計です。

会計名	歳入額	歳出額	差引額
水道事業	収益的収入額(税抜)	収益的支出額(税抜)	収益的収支(税抜)
	4億7,092万円	4億4,154万円	2,938万円
	資本的収入額(税込)	資本的支出額(税込)	資本的収支(税込)
1億3,071万円	2億8,056万円	▲1億4,985万円	
病院事業	収益的収入額(税抜)	収益的支出額(税抜)	収益的収支(税抜)
	27億3,062万円	26億5,573万円	7,489万円
	資本的収入額(税込)	資本的支出額(税込)	資本的収支(税込)
1億9,652万円	3億2,441万円	▲1億2,789万円	

財政の健全化判断比率などをお知らせします

健全化判断比率とは

地方公共団体の財政状況を客観的に表し、財政の早期健全化や再生の必要性を4つの指標で判断するものです。

資金不足比率とは

公立病院や下水道などの公営企業の資金不足を、事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状態の悪化の度合いを示すものです。

●健全化判断比率

指標名	阿蘇市	黄信号	赤信号
		早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率	-	13.33%以上	20.0%以上
②連結実質赤字比率	-	18.33%以上	30.0%以上
③実質公債費比率	8.5%	25.0%以上	35.0%以上
④将来負担比率	52.9%	350.0%以上	-

※①、②は赤字額がないため「-」で表示しています。

※健全化判断比率、資金不足比率は健全化法に基づく数式により算出しています。

●資金不足比率

会計名	阿蘇市	黄信号
		経営健全化基準
水道事業会計	-	20.0%以上
病院事業会計	-	
下水道事業特別会計	-	

※資金不足が生じていない会計は「-」で表示しています。

「令和4年度阿蘇市財政の健全化判断比率及び資金不足比率」は監査委員の審査に付され、**その算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されており、是正改善を要する事項についても、特に指摘すべきものはない**との意見が出されています。

一般会計

令和4年度に実施した主な事業

民生費

- 子どものための教育・保育給付事業
- 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援事業
- 生活困窮者自立相談支援事業
- 障害者福祉事業
- 高齢者福祉事業

総務費

- お知らせ端末管理システム更新事業
- 地方バス運行等特別対策事業
- 光ネットワーク事業

衛生費

- 阿蘇保健福祉センター大規模改修事業
- 予防接種・各種健診事業
- 第2次阿蘇市環境基本計画の策定
- ごみ処理対策の推進事業



大規模改修後の阿蘇保健福祉センター

農林水産業費

- 飼料価格高騰緊急対策支援事業(コロナ臨時交付金)
- 農業用施設農事用電気料高騰支援事業(コロナ臨時交付金)
- 地籍調査事業
- 農業担い手の育成・支援事業
- 有害鳥獣対策事業

土木費

- 老朽住宅解体撤去事業
- 橋梁維持事業
- 河川掘削等維持事業
- 道路維持・新設改良事業

商工費

- 地域振興緊急対策事業(コロナ臨時交付金)
- 平日誘客促進キャンペーン事業
- 阿蘇山火口二次避難施設整備事業
- 商店街活性化事業(空屋対策・買い物支援)
- ふるさと納税制度の利用拡大・推進

阿蘇山火口に整備された二次避難休憩施設



教育費

- ICT活用・環境整備事業
- 英語教育推進事業
- 生涯スポーツ施設の活用事業
- 文化財保護と周知啓発の推進事業

消防費

- 防災行政無線デジタル化整備事業
- 自主避難所トイレ感染症対策事業



防災行政無線デジタル化整備工事で各世帯に設置された戸別受信機

災害復旧費

- 阿蘇山上災害復旧事業
- 農地等災害復旧事業
- 光ネットワーク復旧事業
- 国指定文化財災害復旧事業